

日本の断酒会発祥 60 周年記念例会が開かれました。

1953(昭和28)年9月12日、我国に断酒会が発祥し、その60周年を記念する例会が開かれました。すなわち、(財)日本禁酒同盟がAAを学び、同盟内に「断酒友の会」が発足したのが先駆けとなりました。同会は、現在も独自の歩み続け、同盟の断酒会は、名前は断酒修養会と変わりましたが弛むことなく歩み続けております。

1958(昭和32)年12月に有志や同盟会員が東京断酒新生会を結成し、高知県では同年11月に下司病院に高知県断酒新生会が誕生しております。同年11月9日日本禁酒同盟の小塩完次が高知市で行った講演において、AAや日本の断酒会活動を紹介したことが契機となり、全国的に断酒会活動が広がり高めを見せ、1963(昭和38)年に至り、全断連の結成へとつながります。

60周年記念例会は、去る9月28日(土)5時半より東京都武蔵野市西久保コミュニケーションセンターにおいて、高知市下司病院理事長下司 孝之氏をお迎えし、「**重なる歴史の断酒会 今日を活かそう**」と題した記念講演が行われました。



講師下司孝之氏(右端に立つ)による記念講演風景



講演後出席者各位のショートスピーチ風景

これらスピーチの中で、60周年記念事業として進めている「断酒修養会文集(仮称)」の進捗状況について、順調に進んでいる旨報告されました。

幸いアル法ネット、同盟 HP などでの呼び掛けが奏功し当日参加者も加わり、下記のように広範囲の方々の出席を得ることができました。

- 主な出席者
- 断酒友の会、全断連(奈良県連合会長、埼玉県)、東京断酒新生会、東京断酒会
 - 婦人矯風会、上智大学、禁酒禁煙協会、日本禁煙学会、天理教酒害相談室、安藤記念教会
 - 井の頭病院、こまごめ緑陰診療所、駒木野病院、こころの相談室「リカバリー」、リビングハウス マム

 - 主催者側 (一財)日本禁酒同盟 加藤純二代表理事、役員、会員、OB/OG、事務局
仙台、東京、岡山の断酒修養会会員

各方面から寄せられたメッセージ(順不同 敬称略)

樋口久里浜センター長、**邑上**武蔵野市長、**清原**三鷹市長、**川口**岡山禁酒会館理事長、**會澤**根本正顕彰会会長
中田広島県断酒ふたば会会長、奈良若草断酒会**高橋**、長野県断酒会**宮沢**、山形県長井断酒新生会**諸川**、
救世軍自省館**伊吹**、アハリッククリニック**竹内**、ASK **今成**、イッキ飲み防止連絡協議会、
ほか遠隔地同盟会員、および OB/OG から計 22 通を頂きました。

記念講演資料

ご希望の方は、同盟事務局 TEL0422-54-8555、 koshio_nkd@kdt.biglobe.ne.jp 小塩迄ご連絡下さい。
郵送用縮小印刷版および伝送用パワーポイントファイル(互換モード)を用意しております。ファイルが9MB 越と
やや重いので、ご希望をお寄せいただいた方にメール添付でお送りします。

同盟ホームページのご案内

<http://nippon-kinshu-doumei.fd931.com/> を開設しております。

日本禁酒同盟と検索窓に打ち込むか、このURLを打ち込んで、どうぞご覧下さい。

以上